



2018年7月30日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス
代表者名 代表取締役社長 谷 匡 治
(コード番号：4584 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執 行 役 員 上 野 昌 邦
経 営 管 理 本 部 長
(TEL. 011-876-9571)

株式会社 chromocenter との高産生細胞株構築を目指した 基盤技術確立のための共同研究契約締結のお知らせ

当社は、株式会社 chromocenter（以下、「クロモセンター」といいます。）と、バイオ医薬品開発における高産生細胞株の樹立を目的とした共同研究契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 共同研究の目的及び概要

当社は、足元の経営基盤をより強化する目的で、現在バイオ後続品（以下、「バイオシミラー」といいます。）の開発を中心に鋭意、事業を推進しております。近年、バイオシミラーの市場環境は、大型の売上高を誇るブロックバスターと呼ばれる先行品の特許切れが続き、大きな市場が形成されることが望める一方で、これらの市場シェアを獲得すべく各企業の研究開発もより活発化しております。

このような状況下において、当社は各パイプラインの収益性を高めることを目的にバイオ医薬品の原薬製造量の多寡に直結するタンパク質産生細胞株について、より高産生の細胞株を樹立するべく複数のプロジェクトを進めております。これらのプロジェクトを通して高産生の細胞株を産み出す基盤技術を確立することが出来れば、現在開発しているバイオシミラーのみならず、既に研究中や今後手掛けていくバイオ新薬においても原薬製造の効率化および製造コストの低減が図れるものと期待しております。その結果、これらの基盤技術が、当社パイプラインの最終的な上市に向けて競争優位性、収益性およびアライアンスの確度を高めることに大きく貢献するものと考えております。

今回のクロモセンターとの共同研究はこの戦略の一環として実施するものであります。このように、当社は「バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー」として様々なバイオテクノロジーの可能性にチャレンジし、今後も継続的に優れたバイオ医薬品を創出してまいります。そして、疾患で苦しんでおられるより多くの患者様に当社が創薬したバイオ医薬品を届けてまいります。

当該共同研究では、クロモセンターが所有する人工染色体ベクター技術を利用し、組換えタンパク

質のアミノ酸配列をコードする遺伝子構成体の最適化を行い、バイオシミラーの高産生細胞株を構築することを目指します。

2. 共同研究先の概要

(1) 名称	株式会社 chromocenter
(2) 代表者	松岡 隆之
(3) 設立年	2005年6月
(4) 所在地	鳥取県米子市西町 133-2
(5) 資本金	347,334,750円
(6) 事業内容	安定遺伝子発現細胞株の構築、タンパク質高生産系の開発、染色体解析サービス

3. 今後の見通し

なお、本件に伴う2019年3月期の業績への影響は軽微の見通しです。

以 上